

ねむろトピックス

はほまい保育所の
おともだち

糖・まみぎくになった



なかじん ゆま
中陳 由真ちゃん (4才)
“ケーキ屋さん”に
なりたい



なりた ひろまさ
成田 大将くん (6才)
“コンプとり”に
なりたい



ながやま あすか
長山 明日香ちゃん (5才)
“クレープ屋さん”に
なりたい

DREAM



10月28日(日)から3日間、「浜の母さん出前料理教室」が歯舞漁業協同組合女性部を講師に根室西高校で開催されました。参加した2年生の生徒達は、自分たちが作った料理をおいしく味わいました。

11月8日(土)、「根室弁天島オホーツク歴史フォーラム」が道立北方四島交流センターで開催され、多くの市民がオホーツク海沿岸部を中心に展開したオホーツク文化に触れました。



11月22日、佐藤内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)が来根し、納沙布岬から北方領土を視察しました。北方四島交流センターでは、関係団体等との懇談を行いました。

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎0153-25-3047

「水鳥が集う風蓮湖」

今年も、「ラムサール条約湿地」風蓮湖・春国岱にオオハクチョウが渡って来ました。毎年、10月中旬頃に第一陣が到着し、11月中旬には、3千から7千羽が集結します。

彼らは長い旅をする渡り鳥です。その距離は、およそ3千キロに及びます。オオハクチョウは、アムール川下流域やオホーツク海北岸などで子育てをし、秋の終わりにエサを求めて南下を始めます。ガン・カモ類の渡りのコースは、標識や発信機を付けた調査により、大きく分けて2パターンあることが分かってきました。一つは、カムチャツカ半島から千島列島を経て、サロベツ、宮島沼などを通り、本

州へ渡る西コース。もう一つは、サハリンを経て、知床、風蓮湖などを通り、本州へ渡る東コースです。種によってどちらのコースを通るかが、大まかに分かれていて、コハクチョウ、マガンは西コースを、オオハクチョウ、ヒシクイは東コースを通る傾向にあるようです。冬を暖かい本州で過ごしたオオハクチョウは、3月にまた同じコースを通して、繁殖地へと向かいます。

世界をまたがって、生活をするオオハクチョウ。繁殖地、越冬地、中継地、どこか一つでも無くなってしまったら生きてはいけません。オオハクチョウを守っていくためには、世界が協力してそれぞれの場所を守っていく必要があります。そのための取り決めが、ラムサール条約なのです。

何十年、何百年先も、オオハクチョウが集える風蓮湖であるために、私たちは何をしなければならぬのかを、これからも考えて行動していかなければなりません。

(レンジャー 富岡 優子)

